

優勝を目指して 福井県消防操法大会出場結団式

6月7日、来月23日に行われる第54回福井県消防操法大会に、南越前町代表としてポンプ車操法の部に出場する選手の出場結団式が南消防署で行われました。

出場選手は、河野地区の第7、8、9分団の団員で結成。副管理者の増澤町長から「団の代表として、皆の模範となるよう頑張ってきてください」と激励を受けると、選手を代表して、山本智美さん（甲楽城）が「一致団結し、技術の向上と士気の高揚を図り、南越前消防団の名を高めるため訓練に励みます」と誓いの言葉を述べました。選手らは、約1ヶ月間、2時間の早朝練習を積んで大会に臨みます。



歴史海道に触れてみて 北前船主の館右近家をライトアップ



北前船主の館右近家本宅前の通りをあんどんでライトアップした「灯りゃんせ」が、6月16日から19日の4日間行われました。

この「灯りゃんせ」は、うめまつりに合わせ右近家のイメージアップにと同まつり実行委員会が企画。手作りのあんどんは、流木で作った高さ75センチの6基と竹で作った30センチの約60基で今年の水仙娘笹原和美さん（福井市）の作品。右近家周辺の小道1周約150メートルのコースに置かれ、火が灯りお香がたかれると、幻想的な雰囲気をかもし出しました。

多くのカップルや写真家、家族連れが訪れ「綺麗。いい雰囲気が出てるね」「写真に残したくなる情景だ」「とても幻想的。雰囲気が出て建物と一緒にタイムスリップしそう」と感想を話しながら、ゆったりと館内を見学したり、カメラを構えるなどして右近家を楽しんでいました。

得意の歌も飛び出して 高齢者保養事業

町では、65歳以上の方を対象とした、高齢者保養事業を行いました。これは、各地区の温泉施設を利用して、日頃の疲れを癒し、楽しんでもらおうと行われたものです。

河野地区ではこのような事業は初めて。保健師から健康管理の血圧測定や入浴の指導などを受けたあとは、食事をしながらカラオケで得意ののどを披露。

参加した人たちは「同い年の人らとゆっくりと会えて、話をしたり、一緒に歌ったりとよかった」「高齢者に大変手厚い事業。もったいないと素直に感謝しています」「お風呂の入り方など、参考になった」などと話し、楽しいひとときを過ごしていました。

